



# 公開講座

平成28年

日時 **5月22日[日]**

13:00より開場

場所 **山口グランドホテル**  
山口市小郡黄金町1-1

講師 **入江 杏さん**

2000年末、世田谷一家殺人事件により、隣地に住む妹一家四人を失う。こうした体験の中から、「悲しみを生きる力に」をテーマとして、行政・学校・企業などで講演・勉強会を開催。主催されている「ミシュカの森」の活動を核に、悲しみの発信から再生を模索する人たちのネットワークづくりに努めている。



2016年  
春号  
平成28年5月  
発行

# ハートライン通信

ハートラインやまぐち  
YVSC  
Yamaguchi Victim Support Center

## ご挨拶



山口県警察本部長 藤村 博之

新緑の候、ますますご健勝のこととお慶び申し上げます。  
公益社団法人山口被害者支援センター会員の皆様方におかれましては、平素から犯罪に遭われた方々に対する様々な支援活動に御尽力されておりますとともに、警察が進めております被害者支援に対し、御理解と御協力をいただいておりますことについて、厚くお礼申し上げます。

さて、警察は、多くの事件、事故において、最初に被害者やそのご家族と接する機関であります。自分に何の落ち度もないのに、理不尽な犯罪や事故に遭った被害者とその遺族の悔しさや悲しみは、言葉では言い尽くせないものがあり、警察といたしましては、被害者に寄り添い、心を押し量り、被害者が望んでおられることを常に念頭に置きながら、多種多様な要望に対応するよう努めております。  
しかし、被害者には、百人百通りの苦しみがあり、途切れのない支援を行うには、一人警察だけの力では不十分で、貴センターのような被害者の方に寄り添った活動のできる民間団体の存在が必要不可欠なのであります。  
中でも、被害者等の同意のもと、警察から貴センターに対しまして情報提供を行っているところですが、犯罪を受けられた初期の段階から、被害者への付き添いや相談などの被害者支援を行っていただき、真に心強く感じているところでもあります。

貴センターにおかれましては、平成28年1月4日、公益社団法人の認定を受けられ、今後更に、民間団体でなければできない、きめ細やかで途切れのない支援活動を充実させ、山口県内の被害者支援を行う諸団体の要として、着実にその活動の場を広げていかれることと存じます。

県警察といたしましては、貴センターとの連携を一層深め、県をはじめ、被害者支援に関わりを持つ司法、福祉、医療、教育等の関係機関、団体等と協力し、「社会全体で被害者を支え被害者も加害者も出さない街づくり」に向けた機運を醸成し、被害者支援を更に充実していく所存ですので、今後ともよろしく願いいたします。

## 着任のご挨拶

山口被害者支援センター事務局長 小野 勝則



縁ありまして本年4月から、「公益社団法人山口被害者支援センター」でお世話になっております。この紙面をお借りしまして、ひと言ご挨拶を申し上げます。

私は、この3月に山口県警察を退職すると同時に当センターでお世話になることとなりました。

山口被害者支援センターは1月4日山口県知事から「公益社団法人」に認定され、新しいスタートを切りました。これもひとえに県警支援室をはじめ会員の皆様等沢山の方のご支援・ご協力のお陰とっております。

また、公益社団法人に認定されたことで、支援センターとして、更なる進化をとげなければならないと決意を新たにしております。私自身まだまだ未熟者でありますので、皆様にご迷惑をお掛けするものと思っておりますが、犯罪被害者支援に真摯に取り組んでまいりたいと思っております。

特に、最近の事件事故等は悪質・凶悪化しており、また、いつどこで誰が被害に遭うか想像もつかない世の中になっており、被害者支援活動も増加しております。

責任の重さを肝に銘じ公益性を考慮の上、被害者のニーズに応え、かつ被害者等の心に寄り添った活動ができる組織に向けて取り組んでいきたいと思っておりますので、今後も今まで以上に皆様方のご支援ご協力をお願い申し上げます、挨拶と致します。

## 活動にご賛同いただける方へ

賛助会員・ご寄付をお願いいたします

賛助会費・ご寄付のお振込先

賛助会費

- 個人一口 **2,000円**～
- 団体一口 **年10,000円**～

山口銀行小郡支店  
普通口座 6459961  
(口座名義)  
公益社団法人 山口被害者支援センター

## 編集・発行



全国被害者支援ネットワーク加盟・民間支援組織  
山口県公安委員会指定 犯罪被害者等早期支援団体

公益社団法人  
**山口被害者支援センター**

〒754-0002 山口県山口市小郡下郷1560-21  
TEL/FAX:083-976-5152  
E-mail:yvsc@bz04.plala.or.jp  
HP:http://www.vs-yamaguchi.net

## 公益社団法人に認定・移行

山口被害者支援センターは、本年1月4日山口県知事から「公益社団法人」に認定され、新しいスタートを切りました。

「公益社団法人」移行の準備は平成24年度から取り掛かり、平成26年10月には「一般社団法人」に認定され、そこから、公益会計基準による専門的な申請作業を進めました。新役員も臨時総会で承認されました。その後、公益に向けた準備作業を行い、県認定委員会の審査を経て認定されました。多くの皆さまのご協力とご指導に心から感謝申し上げます。

公益社団法人に対する、支援活動における個人・法人の「寄付金」は所得控除など税制上の優遇措置が認められるほか、公的な信頼性も高まるなど被害者支援活動のさらなる推進に大きな役割を果たすものと考えております。

## 第5回 命の大切さを学ぶ教室全国作文コンクールにて 国務大臣・国家公安委員会委員長賞受賞

### 命の大切さを学ぶ教室で得たもの

山口県立小野田工業高等学校  
3年 テイラー 優介

私の学校では、「命の大切さを学ぶ教室」として、県内の高等専門学校で起きた女子学生殺害事件の被害者のお母さんによる講演を聴かせていただきました。この方は、事件の内容、当時の気持ち、現在の思いや活動など、たくさんの事を話してくださいました。最初は、みんなのため、娘さんのためにとは言っても、どうして辛い過去を思い返してまで、たくさんの人にお話されるのだろうかと思いました。しかし話を聞いているうちに、どうしてこのような活動を続けることができるのか分かってきました。被害者のお母さんの中谷さんは、突然愛する娘を失った事件当時の思いを「泥の中で踏みつぶされるように重くて苦しかった」とおっしゃっていました。しかし、警察の方々や弁護士の方々など多くの人のおかげで、生きることから正面から向き合えるようになり、人と支え合うことの大切さを感じたそうです。このような方の話やインタビューをテレビや新聞、インターネットで見たことがあります。しかし実際に遺族の方から話を聴くと一段と現実味を帯び、身近に感じました。また、この講演会を通じて、命について深く学び、考えさせられました。

まず、ニュースや新聞の見方が大きく変わりました。酷い事故や、事件の話聞いても、「可哀想だな、酷いことをするな」程度しか考えていませんでした。しかし、講演会以降、被害者やその家族の方など、様々な人の立場になって考えるようになりました。

最近見たニュースだと女子高校生が友人に殺害されるという事件がありました。この事件は、被害者の女の子が友人に「殺して」と頼んだそうですが、もし自分が友人にこのようなことを頼まれても、命を奪うという方法は絶対に選びません。なぜなら「死」という選択は悩みの解決にも、苦しみからの解放にもならないからです。生きてさえいれば、何らかの解決策はあると思います。だから、人を殺す人や、自殺をする人が許せません。

私の祖父は半年程前に亡くなりました。がんだったので日に日に弱っていく祖父を見るのは辛く苦しいものでした。しかし、講演会で中谷さんが、突然娘を失う辛さについてお話をされていたので、死期が分かるだけ良いと考え方を切り換えることができました。それからは悔いが残らないように、ほぼ毎日病院へ通い、たくさんのお話をしました。祖父は、亡くなる日の午前中、お見舞いに来ている人、一人一人に「ありがとう」と言っていました。その時は深く考えてはいなかったのですが、祖父の死後、改めて考えると、あの「ありがとう」にはすべての意味が込められていたのだなと思いました。この「ありがとう」は一生忘れないと思います。中谷さんの講演会のおかげで、苦しみや悲しみで愛する人の死から目を背け逃げるのではなく、祖父の死と向き合い、良い形で悔いなく送り出すことができたのではないかと思います。

最後にこの講演会で「命の大切さ」から自分を産んでくれた両親だけでなく、自分まで「命のバトン」を繋いでくれた先祖の方々、自分を育ててくれた家族や関わってきた全ての人への感謝を再認識することができました。

「命」の重さ、大切さは分かっていても、未熟な私では「命」の重さや大切さを他の人に伝えるのは難しいです。だから、これから仕事をしたり、たくさんの人と関わっていく中でさらに学び、いずれ「命の大切さ」を語り、たくさんの人達に影響を与えられる人間になりたいです。

## 「犯罪被害者週間」講演会

犯罪被害者週間 in 萩

平成27年11月29日、山口県萩の「サンライフ萩」において「犯罪被害者週間 in 萩」を開催いたしました。

内容は「命の大切さを学ぶ教室」作文表彰、講演、ギターソロライブ、警察音楽隊の演奏が行われました。

講師に武るり子さんをお迎えして「少年犯罪を防ぐための地域の役割」と題してお話をいただきました。

武さんが被害者の心情を心の琴線に触れる丁寧で切々とした語り口で訴えかけられました。たくさんお集まりをいただいた会場の皆さまからは、被害者の気持ちや立場、被害にあうということがどういうことなのか、考えさせられたなどの感想をいただいております。



原田さんは事故によって大切なご家族をなくされた経験を語ってくださり、澄んだ声で歌を披露されました。



演奏は会場内に響きわたり、聴衆の心を和ませてくださいました。

## 「犯罪被害者週間」街頭キャンペーン



## 命の大切さを学ぶ教室

命の大切さを学ぶ教室の開催は平成23年3月に閣議決定された「第2次犯罪被害者等基本計画」に盛り込まれ、山口県においても「山口県人権推進指針」の中に、推進すべき施策の一つとして「犯罪被害者と家族の問題」が明記されています。

その取組の一つとして、犯罪被害者遺族の方々が大切な人を亡くした想いや命の大切さを語りかける「命の大切さを学ぶ教室」を山口県からの委託事業として取り組んでおります。

平成27年度は県内13の中学校・高等学校において人権教育の一環として取り入れて頂き、「命の大切さ」について中学生と高校生に真剣に考えていただきました。



### 【平成27年度に開催していただいた学校】(敬称略)

#### 中学校

- 下関市立日新中学校
- 岩国市立東中学校
- 岩国市立周東中学校
- 柳井市立柳井西中学校
- 周南市立中須中学校

#### 高校

- 山口県立小野田工業高校
- 下関市立下関商業高校
- 山口県立山口農業高校
- 山口県立下松高校
- 山口県立柳井高校
- 山口県立防府高校佐波分校
- 山口県立厚狭高校
- 萩光塩学院高校

## 広報活動



2月22日 フジグラン宇部



3月23日 下関駅



## 研修報告

「平成27年度全国被害者支援ネットワーク（中国・四国ブロック）質の向上研修下半期研修会」に5名で参加してきました。

2日間、弁護士と臨床心理士と県警の方のお話をお聴きし、グループ討論を行いました。他のセンターのメンバーの方々と交流し、他県の被害者支援状況・警察との連携の取り方などについて勉強し、今後の支援活動にいかせるように真剣に取り組みました。

平成29年1月は山口県が中国・四国ブロック下半期研修を担当する予定になっています。

皆さま、ご協力よろしくお願ひ申し上げます。



## ご支援ありがとうございます

山口被害者支援センターは、山口県警察の全面的なご指導・ご協力と皆様方のご支援により、平成28年1月4日より山口県知事から公益社団法人として認定され、被害者支援等の活動を継続しております。

当センターの活動は皆様方の温かいご支援により運営しております。平成27年2月～平成28年3月までにご支援をいただいた方を掲載いたしました。 ※敬称略・順不同 ※掲載を承諾された方のみ

#### 団体賛助会員

- 山口県損害保険代理業協会
- (有)サンコー保険ドクター
- 萩警察署
- 山口県臨床心理士会
- ベル商事(株)
- (株)グットライアンス
- 青海博文税理士事務所
- 山口県警察本部警察県民課
- 山口県商工連合会
- 信光寺
- 山口県経営者協会
- JA山口中央会
- JA全農やまぐち
- JA山口信連
- JA共済連山口
- JA山口厚生連

#### 個人賛助会員

- 永田 博
- 八木 正次
- 吉岡 真治
- 松田 弘子
- 川村 榮
- 斎藤 隆弘
- 田中 陽
- 原田 正義
- 岸野 靖子
- 蔵清 智子
- 嶋田 雅宏

#### 寄付

- 天野 真美子
- 末永 公子
- 公務有志一同
- 山口県央ロータリー
- 山本 季世乃
- 白木 伸子
- つじ歯科クリニック
- 山口県遊戯業協同組合
- 山口南警察署
- 吉田 明
- 蔵清 智子

#### お願い

当支援センターに会費（平成27年2月1日～平成28年3月31日現在）を納付していただいた方々を掲載しておりますが、名簿に記載漏れ、誤字・脱字等の不備がございましたらお許しください。また、その節にはご連絡ください。  
次号に掲載させていただきますので、よろしくお願いいたします。



## 被害者支援自動販売機の設置状況

山口被害者支援センターでは、被害者支援の活動資金を捻出するため、皆様方のご協力により、清涼飲料水等を販売する支援自動販売機を設置しております。

設置にご協力いただいております場所は以下通りです。

なお、今後設置可能な場所やご希望がありましたら、当センターまでお知らせいただけますと幸いです。

※敬称略・順不同

須恵の郷  
 (株)長府製作所(2台)  
 林 節子  
 (株)日立製作所笠戸事業所  
 (株)ブリヂストン防府工場  
 住吉工場(株)  
 山口被害者支援センター  
 道の駅萩シーマート  
 宇部興産(株)  
 周南カントリー倶楽部  
 美津濃(株)岩国運動公園  
 西山青果(株)(2台)  
 山口トヨタ自動車(株)(15台)  
 学校法人早稲学園早稲自動車学校  
 光自動車学校  
 レークスワンカントリー倶楽部  
 中須ゴルフ倶楽部  
 宇部マテリアルズ(株)  
 日本製紙(株)岩国工場  
 阿知須共立病院  
 山口短期大学  
 光輝病院  
 東洋ヒューム管(株)  
 下松市役所睦会  
 (株)竹中工務店  
 ルネサスセミコンダクタマニュファクチャリング(株)

田中慶應進学塾  
 (株)グッドライアンス  
 生活協同組合コープやまぐち(3台)  
 東洋鋼板下松事業所(2台)  
 積水ハウス(株)山口工場  
 三和企業(株)西日本自動車学校  
 日本通運(株)防府支店  
 フジミツ(株)三隅工場  
 東ソー生活協同組合(2台)  
 東亜大学(2台)  
 岩国中央病院  
 共進(株)  
 帝人(株)(2台)  
 厚狭ゴルフ倶楽部  
 道の駅阿武町  
 周防カントリークラブ(2台)  
 岩国自動車学校  
 唐戸市場業者連合協同組合  
 新山口カントリー倶楽部  
 セントラルパークゴルフ倶楽部  
 山口フラワーランド  
 山口市仁保斎場  
 道の駅北浦街道豊北  
 下松中央公民館  
 新日本製紙株式会社

山口県農業協同組合中央会(2台)  
 長州産業(株)(3台)  
 マツダロジスティクス(株)防府事業所  
 (株)新笠戸ドック  
 積水ハウス(株)  
 岩国南自動車学校  
 (株)ハートフーズ21  
 道の駅おふく  
 周南システム産業(株)サンライフ周南  
 美津濃(株)玖珂総合公園  
 三和企業(株)早稲田イーライフ宇部  
 深川養鶏農業協同組合  
 宇部記念病院  
 泉水原ゴルフクラブ  
 農産物加工販売所「つつじ」  
 山本内科胃腸科  
 (株)OBM(2台)  
 サンライフ山陽(2台)  
 阿知須同仁病院  
 (株)フジ  
 新日鐵住金(株)  
 山口市嘉川斎場  
 しおかぜの里角島直売所  
 (株)ブリヂストン下関工場  
 (有)いしだクリーニング  
 東洋紡(株)

## ホンデリング～本でひろがる支援の輪～

あなたの本のご寄付で、  
 犯罪被害に遭われた方々への支援の輪が広がります。

あなたの本が、犯罪被害に遭って身体や心を傷つけられたり、大切なものを失ったりして苦しんでいる方たちへの支援活動へつながります。犯罪被害に遭われた方が安心した生活を取り戻せるように、力を貸してください。

### お申し込み方法

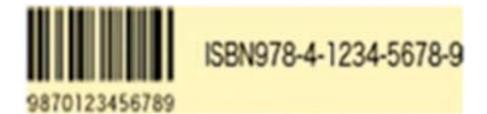
1 不要になった書籍を段ボールに詰めます。申込書をプリントアウトし、ご記入の上、本と一緒に入れます。

※段ボールが複数になる場合でも、申込用紙は1枚で大丈夫です。  
 ※古本は5冊から、着払いで受け付けます。  
 ※18歳未満の方は、保護者の方にお問い合わせしてお申し込みください。



以下の本は取り扱いできませんので、集荷に出さないでください。

右記ISBNのない本、百科事典、コンビニコミック、個人出版の本、マンガ雑誌、一般雑誌は取り扱いできません。



2 株式会社バリューブックス 0120-826-295 に電話。  
 「ホンデリング～本でひろがる支援の輪～に申し込みたいのですが…」と伝えてください。

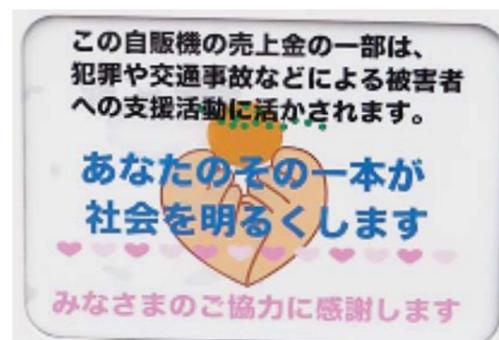
●電話受付時間

月～土 10:00～19:00  
 日 10:00～17:00

●宅配業者がご指定の時間に引き取りにうかがいます。

※ヤマト運輸の集荷を手配します。  
 ※古本は5冊から、着払いで受け付けます。

株式会社バリューブックスにて、買い取られます。  
 買い取り金額は、認定非営利活動法人全国被害者支援ネットワークに寄付されます。  
 認定非営利活動法人全国被害者支援ネットワークにて犯罪被害に遭われた方々への支援活動に活用させていただきます。



この度山口県農業協同組合中央会様(2台)と(有)いしだクリーニング様に新しく設置していただきました。御協力ありがとうございます。

